

地域教員希望枠「徳島スーパールーキー(次世代徳島リーダー教員)養成プログラム」の概要

背景

- 徳島県の小学校では単学級校が増加。さらに単学級を下回る過小規模校も増加傾向。
- これに対応するため、県教委では、他校種や他機関と連携しながら小規模校の教育活性化を図る「チェーンスクール」「パッケージスクール」の取組を推進。
- 今後、一層の拡大が見込まれるこれらの学校で、中心となって活躍できる資質を備えた教員を確保して行くことが必要不可欠。

対応

国立大学法人 鳴門教育大学 × 徳島県教育委員会

- 鳴門教育大学で養成する教員像を「徳島県が抱える小規模校化の中でも学校間連携を推進し学校力を強化するとともに、必要な知識・スキルを学び高め続けていく『次世代地域リーダー教員』」と捉え、徳島県教育委員会と連携・協働して、安定的・継続的に教育現場へ人材を輩出していくことで合意。

プログラムの流れ

※令和9年度入学生のケース

令和7年度

高校生対象
セミナー

令和8年度

入学
選抜

令和9年度 ~ 令和12年度

学部1年次~4年次

令和13年度

教職
大学院
1年次

徳島県公立学校教
員選考審査の受審

令和14年度

小学校の
教員として
実務経験

令和15年度

教職
大学院
2年次

- ▶ 小学校教員の魅力・地域枠の内容について理解を図る
 - ▶ 徳島県の小学校教員となることを希望する熱意ある人材を発掘・養成
- ⇒ セミナー修了者は入学者選抜の出願資格を得る

- ▶ 学校推薦型選抜I型(大学入学共通テスト免除)を実施

入学定員:
5名

学修集団(コホート)による協働をベースとした学部・教職大学院接続インターバル型学修

- ▶ 令和9年度入学生から、本プログラムの特設科目群として、「徳島県中核教員養成科目群」を設定し、徳島県の小学校教員として即戦力となる力量を形成

〈授業科目の構成〉

- ① 地域教員実習科目群
- ② 小規模校学校教育改善科目群
- ③ 教育改善探究科目群
- ④ セルフデザイン型学修応用科目群
- ⑤ ICT活用・データサイエンス科目群

- ▶ 令和13年度(教職大学院1年次)には、教員選考審査を受審 ※特別選考等を行うことも検討
- ▶ 令和14年度には、小学校教員として学校現場で勤務
- ▶ 令和15年度(教職大学院2年次)には、学校現場で勤務しながら大学の遠隔教育システム等を活用して学修し、専門職学位を取得

⇒ 「次世代徳島リーダー教員」として活躍

主な特色

- 「学部から教職大学院までの7年一貫型養成」は、全国でも例のない先駆的な取組
- 学修集団(コホート)による協働をベースに、学部・教職大学院接続インターバル型学修を展開
- 徳島県教育委員会と鳴門教育大学が密接に連携し、高校生対象セミナーから学生の養成、修了後のフォローまで実施